



チケット取扱
WE ショップいずみ 中田店 泉区中田東 3-16-4 ☎802-0095
 領家店 泉区領家 4-1-5 ☎813-7739
 萩丸店 泉区和泉中央南 1-38-12 ☎801-8965
 生活クラブ緑園デポ一 泉区緑園 7-1-13 ☎813-5121

鎌仲ひとみ監督 来場決定！！



日時：2016年
3月8日(火)

第1回 開場:9:30 開演10:00

鎌仲監督トークショー ①12:10~12:40

第2回 開場:12:45 開演13:00

鎌仲監督トークショー ②13:00~13:30

※2回目はトークショーが上映の前になります

場所：泉区文化センター
テアトルフォンテ ホール
(いずみ中央駅すぐ)

主催：横浜みなみ生活クラブ生協 泉 commons
 協賛：横浜みなみ生活クラブ生協 緑園デポ WE21 ジャパンいずみ

託児あり (要予約) 【Email】 izumi.coms@gmail.com

前売券:1,000円 当日券:1,300円

鎌仲ひとみ (映像作家)

早稲田大学卒業後ドキュメンタリー制作の現場へ。
 90年初作品「スエチャおじさん」監督、文化庁助成を受けカナダ国立映画制作所へ。
 93年からNYにてメディア・アクティビスト活動。
 95年帰国、フリー映像作家としてテレビ番組、映画を監督。
 2003年ドキュメンタリー映画「ヒバクシャ―世界の終わりに」以降、2006年「六ヶ所村ラブソディー」、2010年「ミツバチの羽音と地球の回転」で、核を巡る三部作完成。
 2012年 DVD「内部被ばくを生き抜く」発売。
 新作「小さき声のカノン」は、2015年3月より全国で公開中。

子どもたちに「いま」必要な「保養」とは？



国境を越えてつながっていく、「子どもたちを守りたい」という思い。
 福島原発事故後、子どもを被ばくから守るため避難を選択する人もいれば、福島で暮らすと決めた人もいます。福島で暮らすと決めたお母さんたちは、泣いてばかりでは解決しないと、子どもを被ばくから守るため自ら新しい選択策を作り出しているところがあります。
 一方、チェルノブイリ原発事故後のベラルーシでは子どもたちの被ばくを軽減する「保養」という取り組みが29年経った今でも続けられている。その具体的な内容と驚くべき効果とは？
 その事故から4年、日本でも被ばくを軽減する新しいステージが始まった。放射能についての危機感がしだいに薄れ、事故の風化がささやかれる今だからこそ、誰もが観るべきドキュメンタリー。

「保養」とは...
 子どもたちが健康を取り戻すための「食糧」のようなもの。1986年、チェルノブイリ原発事故を契機としたベラルーシでは、今も年間10万人の子どもの健康を診察している。日本でも市民グループが全国各地で保養を始めている。

小さき声のカノン — 選択する人々
 Little Voices from Fukushima
 出演：鎌仲ひとみ 監督：鎌仲ひとみ 脚本：鎌仲ひとみ 撮影：鎌仲ひとみ 編集：鎌仲ひとみ 音楽：鎌仲ひとみ 制作：鎌仲ひとみ 配給：鎌仲ひとみ 2015年、カンナダ国立映画制作所
 www.kamanaka.com/canon
 お問い合わせ 鎌仲ひとみプロジェクト TEL 03-6379-3938 MAIL movie@kamanaka.com